

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価 結果・学校関係者評価

学校名	嬉野市立轟小学校
-----	----------

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・最終評価において、10項目で成果指標を十分達成することができた。 ・将来の夢や目標をもつ児童の育成に向けて、更なる取組の充実と家庭との連携強化を図る。 ・すべての項目における取組について、家庭や地域にその内容を積極的に発信し、家庭や地域と連携して学校教育目標の実現に努める。 ・児童が、地域に貢献できる取組を検討し、実践化を図る。	
--------------------------	---	--

2 学校教育目標	夢をもち、ふるさとを愛し、生き生きと学ぶこころの育成 ～高い志をもつ、持続可能な社会の創り手とするために～
----------	---

3 本年度の重点目標	①主体的な学びと豊かな表現力の育成 ②心に響く生徒指導及び特別支援教育の充実 ③健康で、逞しい体づくり ④地域コミュニティとの連携・協働による社会に開かれた教育課程の推進
------------	---

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				
(1)共通評価項目								主な担当者		
重点取組			中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果			評価
●学力の向上	○校内研究の研究主題に基づいた、職員の共通理解・共通実践。	○研究主題に基づいて、理科・算数科の授業を実践したと答えた教師90%以上	・全職員が研究主題を理解し、目指す児童の育成に向け、算数科・理科の教材研究・授業実践に取り組み。	A	・肯定意見が100%であった。職員の共通理解のもと、各職員で実践を進めることができていた。 ・今後も、校内研究を通して、さらに研修や実	A	・中間に引き続き、肯定意見が100%であった。方向性を見据える1年であったが、職員で共通理解を図りながら「理数教育」について研究を進めることが、方向性をしっかりと定めることができた。	A	・一人たりとも取り残さないという全職員の一致した強い思いは結果を出していると思う。 ・理数教育について共通理解ができ方向性をしっかりと定められているのではと実感したと	・しっかり学ぶ子プロジェクト ・研究主任
	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○心に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童90%以上	・道徳教育や体験学習、奉仕体験などの様々な活動や毎月の生徒指導の話などを通して、児童の心に響く指導の充実を図る。	B	・心のアンケート上の2項目のうち、「道徳の学習で、自分の生活を振り返る」は、90%に満たなかった。今後も道徳での振り返りの時間を十分に取、よい価値や倫理観を様々な場面で形成していくよう、教師による承認・称賛・励ましを継続していく。	B	・心に関するアンケート「友達と仲良く生活する」「道徳の学習で自分の生活を振り返る」は、それぞれ89%、77.6%であった。今後も道徳での振り返りの時間を十分に取、よい価値や倫理観を様々な場面で形成していくよう、教師による承認・称賛・励ましを継続していく。	B	・学校の仲間、家族、先生、地域の人たちへのリクエストについて指導をお願いしたい。 ・言葉遣いは毎日の生活で指導したい。	・いたわる心プロジェクト
●心の教育	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等について、組織的対応ができていると回答した教師90%以上	・いじめ問題に関する体制を明確にし、報告・連絡・相談を徹底する。 ・必要に応じて、体制の見直しを行い、結果を保護者にも周知する。	A	・「いじめ防止について組織的な対応ができている」と答えた教師が100%だった。引き続き未然防止や支援を要する児童の情報などの報告・連絡・相談を密にし、組織的な対応をしている。	A	・「いじめ防止等について、組織的な対応ができている」と答えた教師は、100%だった。日頃から未然防止や支援を要する児童の情報などの報告・連絡・相談を密にし、組織的な対応を徹底した成果と言える。	A	・各家庭の生活環境の違いで考え方が異なると思うので、次の項目と同様に最初に良いところを認めて、いじめがあったら話し合いを繰り返して注意をお願いしたい。	・いたわる心プロジェクト
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童80%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童80%以上	・自己の成長や高まりを実感できるよう関わりや声かけ(教師の活用)を行う。 ・「キャリアパスポート」を活用し、節目の時期に児童が自身の変容や成長を自己評価できるようにする。また、その取組について、保護者へ周知を図る。	A	・「先生は自分のよいところを認めてくれると思う」と回答した児童は87%、「将来の夢や目標をもっている」と回答した児童は100%で達成している。 ・年度末には1年間の目標を書いたものや学習したことを記録としてキャリアパスポートに記	A	・「先生は自分のよいところを認めてくれると思う」と回答した児童は87%、「将来の夢や目標をもっている」と回答した児童は100%で達成している。 ・年度末には1年間の目標を書いたものや学習したことを記録としてキャリアパスポートに確実に記録する	A	・次年度も学年ごとの体験活動の推進をお願いする。	・特別活動主任 ・総合的な学習の時間主任
	○ふるさとを愛する思いにつながる取組の充実	○「嬉野のことが好きである」と回答した児童80%以上	・「総合的な学習の時間」や地域コミュニティと連携した活動を充実させる。また、活動後の振り返りを記録させる。	A	・「嬉野のことが好きである」と回答した児童が87.5%で達成している。後期も「総合的な学習の時間」や地域コミュニティと連携した活動を充実させていく。	A	・「嬉野のことが好きである」と回答した児童が、95%と中間評価のときより増えていた。地域学習の成果が出ていると思われる。	A	・嬉野市の歴史を知り、先人の努力で現在に至っている時の温泉、お茶、焼き物等について指導をお願いする。 ・ふるさとを守ってきたおじいちゃん、おばあちゃんが元気なうちに話をたくさん聞いてほしい。 ・学校とコミュニティとの連携した活動はよい成果が出ていると思う。	・特別活動主任 ・総合的な学習の時間主任
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」児童生徒90%以上	・学校栄養職員と担任による食育の授業、食生活改善推進協議会と連携した授業や、食育月間の取り組みの充実を図る。 ・学校での取り組みを学校報、学校HP、食卓により積極的に発信する。	A	・食育の授業は計画的に行われている。食育月間の取組も進めてきた。11月に2回目を予定している。	A	・食育の授業は全クラスで行うことができた。 ・食育月間は11月に取組むことができた。 ・ふれあい弁当で学年に応じた家族の取り組みを呼び掛けることができた。	A	・子どもの95%に対し保護者は77%となっており、子供たちはおいしい食事を作ってもらっていると感じているのだと思い嬉しく感じた。 ・食育の授業は健康管理につながるため家族の取組は大切であると思う。	・バランス体プロジェクト
	●運動習慣の改善や定着化	●運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒80%以上	・週に1回、全校や学級で外で遊ぶ日を設け、用具の充実を図り、運動や遊びに親しみをもって取り組めるようにする。	B	・気温の高い日が例年になく多かったため、外遊びがあまりできなかった。気候が変わると運動する機会が増えると思われる。	B	・休みに外で遊ぶ児童が少しずつ増えているが固定化している傾向がある。 ・なかなか外に出ない児童に運動を勧めるためにも、意図的に運動ができるように仕組んでいくことも大切である。	B	・先生方が意図的に運動できるよう仕組んでいけることを期待している。 ・室内でできる運動、体操等取り入れたらよいと思う。	・バランス体プロジェクト
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・毎週水曜日を定時退勤日とし、17時30分には施錠を行う。	B	・私は、時間外在校等時間(月45時間・定時退勤日)を守るため、工夫して働いていると回答した職員は100%だった。計画的に行ったりまとめて行ったりすることを意識して業務を行っているが、上限の45時間を超えている職員はいる。業務のスリム化や効率化を組織的に進めていく必要がある。	A	・私は、時間外在校等時間(月45時間・定時退勤日)を守るため、工夫して働いていると回答した職員は100%だった。業務のスリム化、効率化を組織的に進めてきたことと職員の意識が高まったことの成果が見えだしてきた。	A	・先生方の仕事が大変なのはよく分かる。業務のスリム化、効率化を図り、できる限り無理のないように働いてほしい。 ・見えだしてきた成果で心身ともに健康でいていただきたい。	・教頭
	○同僚性を大事にした職員の相談体制の充実	○「同僚は相談しやすい」と答える教師80%以上	・毎日、出勤時にその日の様子や体調等について会話をし、コミュニケーションをとる。 ・「ほめる・励ます」ことを心がけ、相談しやすい環境づくりを行う。	A	・100%が同僚は相談しやすいと回答している。互いに助け合ったり補い合ったりできており、引き続き相談しやすい雰囲気づくりに努める。	A	・100%が同僚は相談しやすいと回答している。互いに助け合ったり補い合ったりして1年間を過ごすことができた。	A	・同僚とも先輩とも通じ合えると心強いと思う。気軽にあいさつ、声かけだけでも良いと思う。 ・引き続き雰囲気づくりに努めてもらいたい。	・教頭・教務
●特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教師90%以上	・特別支援教育に関する研修会を計画的に実施する。 ・気になる児童について全職員で情報共有し、共通実践を行う。	A	・特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教師は90%だった。引き続き、研修会や気になる児童の連絡会、ケース会議を行い、情報共有を行ったり、支援方法を統一させたり、検討したりしていく。	A	・特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した職員が83.8%で、90%を下回ったが、より専門性を高めたいという意識が強くなった。研修や気になる児童の情報共有をしたり、ケース会議を随時実施したりして、個々の特別支援教育の専門性を向上させる取組ができた。	A	・専門性の高い対応が必要と思われるが、日々の行動等については情報の共有が重要になると思われる。 ・社会教育の指導の中で学校との連携ができた、よいところの評価悪いところの指導ができると思う。	・特別支援教育コーディネーター
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○ICT利活用教育の充実	○ICTを効果的に活用した教育活動の充実	○ICTに関するアンケートにおいて、肯定的な回答をした児童90%以上 ○令和5年度よりも授業内でICTを活用したと答える教員が80%以上にする	・デジタルドリル等を活用した学習の充実 ・ICTの活用方法について、基本的な操作方法や実践事例等を共有する研修を定期的に行い、指導の充実を図る。	B	・授業後や単元のまとめとして、デジタルドリルを活用することができた。また、家庭でのデジタルドリルの活用を推進するために、家庭での接続確認を実施した。プログラミング教育に関する研修やICTを活用した授業実践を校内研究内で行っている。	A	・タブレットを使うことで、学習内容がよく分かるという質問に肯定的な回答をした児童は、90%となっており、成果指標は達成できた。本年度は、授業内でのタブレットの活用を更に進め、ICT利活用の充実を図りたい。教員についても、校内でタブレット活用に関する研修を行い、授業内外で活用できるようにする。	A	・今後ますますタブレットの活用範囲は拡大すると思われる。研修等の充実によりその活用範囲の拡大に尽力したことを望む。 ・10%の児童が学習内容の理解が十分でないようである。その中身の精査で問題発見してほしい。	・情報教育推進リーダー
	○小中連携	○小中連携による学力向上の推進	○中学校区で定めた学力向上の取組を達成した教師の90%以上	・家庭学習習慣化週間の取組を行い学習習慣の定着化を図る。	A	・「大体できている」と回答した職員が100%で、達成できているが、どのような取組を設定するか校内研究やプロジェクトの取り組み等を通して繰り返し周知していく。	A	・「大体できている」と回答した職員が90.1%で、達成できた。中間と比較し、とてもきた割合が増えたが、あまりできていない職員も出てきた。幅広い周知をしながら、徹底していきたい。	A	・中学校と連携することで小学校でやるべきことが見えてくると思うので職員間の連携をお願いする。 ・最終受け皿の担任の先生は毎日回収し情報を全員分どう蓄積しているのか。こここそITを導入し情報分析に活かして先生の負担を減らしたらよいと思う。 ・生徒指導面の連携には課題を感じる。

5 総合評価・次年度への展望	・最終評価において、2項目がおおむね達成、それ以外は十分達成という評価になった。すべて、十分達成を目指し、学校関係者評価でいただいた意見を参考に、瀬岡指標や取組内容を見直し、達成に努めたい。 ・すべての項目における取組について、家庭や地域にその内容を積極的に発信し、家庭や地域と連携して学校教育目標の実現に努める。 ・地域コミュニティとの連携を図り、児童の体験活動を充実させ、ふるさとを愛する児童の育成に努める。	
----------------	--	--